

高原滋夫基金

2施設に助成金

山陽新聞社会事業団

山陽新聞社会事業団（松田正己理事長）は、2015年度分の「高原滋夫基金」による助成金を難聴幼児通園施設2施設に贈った。今回が20回目。

岡山かなりや学園（岡山市北区西古松）、ゼノこばと園（福山市沼隈町）で、合わせて28万円。2施設は、聴覚障害児教育に必要な器具、備品の購入などに充てる。

この基金は、聴覚障害児教育に尽くした岡山大名誉教授の故高原滋夫氏の遺族、故わか夫人と、長男で医師の郁夫氏（岡山市北区広瀬町）から寄せられた寄付金をもとに1995年に設立された。

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。